

【注意事項】

R20TS1053JJ0100

Rev.1.00

2024.10.22

RX ファミリ ボードサポートパッケージモジュール

Firmware Integration Technology Rev.7.50

概要

タイトルに記載している製品の使用上の注意事項を連絡します。

1. RX261、RX260 グループで LPT のクロックソースに IWDT を選択した時の注意事項

1. RX261、RX260 グループで LPT のクロックソースに IWDT を選択した時の注意事項

1.1 該当製品

- (1) ボードサポートパッケージモジュール Firmware Integration Technology (BSP FIT モジュール)

該当するリビジョンおよびドキュメントは、以下のとおりです。

表 1.1 BSP FIT モジュール該当製品一覧

BSP FIT モジュールのリビジョン	資料番号
Rev.7.50	R01AN1685JJ0750

1.2 該当デバイス

- ・ RX261、RX260 グループ

1.3 内容

- 1.1 該当製品の LPT に関する初期設定の処理の内容に誤りがあります。

LPT クロックソース (BSP_CFG_LPT_CLOCK_SOURCE) に IWDT を選択したとき、IWDT カウント停止コントロールレジスタ (IWDT_CSTPR) の設定処理が実行されません。そのため LPT モジュール (R01AN2571) または LPT のコード生成のソフトウェアと組み合わせて LPT のレジスタ設定を行い LPT による低消費電力状態からの復帰を許可してから WAIT 命令を実行すると、低消費電力状態に遷移したとき IWDT がカウントを停止します。IWDT が停止すると LPT のカウント動作も停止するため、LPT による低消費電力状態からの復帰ができなくなります。

1.4 発生条件

以下の条件をすべて満たす場合に発生します。

- (1) デバイスは RX261、または RX260 を選択する。
- (2) LPT クロックソースに IWDT を選択する (BSP_CFG_LPT_CLOCK_SOURCE=1)
- (3) LPT モジュールまたは LPT のコード生成のソフトウェアから LPT のレジスタ設定を行い LPT による低消費電力状態からの復帰を許可する。
- (4) WAIT 命令を実行する。

1.5 回避策

- 1.6 恒久対策を参照。

1.6 恒久対策

BSP Rev.7.51（資料番号：R01AN1685JJ0751）で修正されています。
BSP Rev.7.51 にバージョンアップしてください。

改訂記録

Rev.	発行日	改訂内容	
		ページ	ポイント
1.00	Oct.22.24	-	新規発行

本資料に記載されている情報は、正確を期すため慎重に作成したのですが、誤りがないことを保証するものではありません。万一、本資料に記載されている情報の誤りに起因する損害がお客様に生じた場合においても、当社は、一切その責任を負いません。

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。

ニュース本文中の URL を予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。

本社所在地

〒135-0061 東京都江東区豊洲 3-2-24 (豊洲フォレシア)

www.renesas.com

お問合せ窓口

弊社の製品や技術、ドキュメントの最新情報、最寄の営業お問合せ窓口に関する情報などは、弊社ウェブサイトをご覧ください。

www.renesas.com/contact/

商標について

ルネサスおよびルネサスロゴはルネサス エレクトロニクス株式会社の商標です。すべての商標および登録商標は、それぞれの所有者に帰属します。